

援農ボランティア受入地域のみなさんへ(基本的事項)

「わかやま縁農」は、和歌山県が推進している事業です。

援農ボランティアと受入地域の方々のニーズのマッチングを行い、協働作業、交流により、中山間地域の農業資源や多面的機能の保全、伝統文化の継承などを推進するとともに、地域や集落の活性化を図り、持続的な農村づくりを目指すものです。従って個人ではなく、地域またはグループとして援農ボランティアの受入を行うこととしています。

援農ボランティアを受け入れることは、ボランティアとして参加されるみなさんに、和歌山県の中山間地域の実情を知っていただくよい機会であり、地域のくらしや魅力を、文字ではなく、言葉と体験で伝える機会です。また、地域を、ボランティア同士の交流の場として提供することでもあります。

1 受入地域の姿勢

この事業では、ボランティアとして参加する学生(隊員)を安価な労働力として捉えるのではなく、彼らの共感を得て、彼らとの交流を継続的なものとしていくため、農業や農村理解の場として彼らを迎え入れる姿勢を、受入地域のみなさんに求めています。

2 農機具の準備や作業方法の説明

受入地域のみなさんには、農機具の準備や使い方、作業方法や手順の説明をお願いしています。

なお、隊員のほとんどは、農作業に従事した経験がありません。危険な作業や単独での作業はさせないようにお願いします。

3 隊員が用意するもの

隊員は、作業に適した服装(長靴、帽子、軍手、着替え等)・飲食料品(昼食、飲み物等)など最低限必要な装備品等は、各自用意することとしています。

4 傷害保険加入・交通費一部助成

隊員は、活動参加にあたり傷害保険に加入することとしており、その経費は事務局が負担します。

また、事務局では、活動に参加した隊員に対し、移動に要した交通費(公共交通機関利用時の実費相当分)の一部助成を行っています。